決 算 レ ポ ー ト

審査済 A
審査番号 TA15－229
(平成 27 年 9 月 8 日)

ACE Research Institute

バリュエーション判断
新規 強気
目標株価 1600 円

クレステック(JQ:7812)

決算説明会:2015 年 9 月 1 日

担当 : 石飛 益徳

【連結】 (百万円、%、円:会/会社計画、予/エース経済研予想、権利落ち修正後)

決算期		売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2013/6		11,747	－	250	－	436	－	89	－	27	5.00
2014/6		13,241	13	496	98	483	11	200	125	71	5.00
2015/6		14,733	11	650	31	729	51	398	99	137	30.00
2016/6	会	15,724	7	728	12	602	-17	366	-8	113	30.00
2016/6	予	15,730	7	730	12	610	-16	370	-7	114	30.00
2017/6	予	16,670	6	810	11	710	16	450	22	139	36.00

【売上構成】	15/6期
日本	31%
中国地域	25%
東南アジア地域	33%
欧米地域	11%

【PER】	
15/6	7.6
16/6予	9.2
17/6予	7.5

【財務指標】			
BPS	1,077円	株価(9/7終値)	1,043円
自己資本	3,497百万円	売買単位	100株
総資産	11,969百万円	発行株数	3,248千株
時価総額	3,388百万円	PBR	1.0倍

注. 発行株数は株式上場に伴う公募及び第三者割当増資を含む、EPS、BPSの計算にも適用。

＜注目ポイント＞

①顧客企業の新製品に添付する取扱説明書や修理マニュアル等の執筆、イラスト作成、データ組版、翻訳、印刷等のテクニカルドキュメンテーションを主力に、市場動向調査や国別法令確認、製品の梱包設計、印刷物輸送等の周辺業務をグローバルに展開。事業セグメントは、「日本」、「中国地域」、「東南アジア地域」、「欧米地域」の地域別売上高に分類。

②次世代マニュアル(組み込みマニュアル、タブレット端末、IoT による情報提供サービス)や国際規格対応サポート(CE マーキング等)、教育コンテンツなど事業領域の拡大に取り組む。

③2015 年 6 月期は前期比 11%増収の 147 億 33 百万円、同 51%経常増益の 7 億 29 百万円、当期利益同 99%増の 3 億 98 百万円と公表計画(売上高 135 億 50 百万円、経常利益 6 億 4 百万円、当期利益 3 億 6 百万円)を大きく上回った。

④2016 年 6 月期は、東南アジアの売上拡大、中国の利益改善を見込み、売上高 157 億 24 百万円(前期比 7%増)、営業利益 7 億 28 百万円(同 12%増)を計画。経常利益は為替差益を見込まず、6 億 2 百万円(同 17%減)としているが、実質的には同 4%増益と試算。

⑤エース経済研究所では、2016 年 6 月期を売上高 157 億 30 百万円、経常利益 6 億 10 百万円、当期利益 3 億 70 百万円と会社計画をやや上回る水準を予想。

バリュエーション判断は強気

バリュエーションの比較対象企業には、技術仕様書制作の CDS(東 1:2169)、技術マニュアル制作のシイエム・シイ(JQ:2185)、企業向け技術翻訳の翻訳センター(JQ:2483)が考えられる。この 3 社の今期予想 PER は 8～20 倍となっており、同社の収益性等を考慮し、目標株価は今期予想 EPS×比較 3 社平均予想 PER14 倍の 1600 円とする。現在の株価水準は、これを大幅に下回っており、バリュエーション判断は強気とする。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

≪アナリストによる宣言≫

私、石飛　益徳は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。
また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

≪利益相反に関する開示事項≫

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
  また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等:　エース証券株式会社　金融商品取引業者　近畿財務局長(金商)第 6 号
加入協会:　日本証券業協会
指定紛争解決機関:　特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.242%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,700 円)(税込み)が必要となります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI　免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。

- 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。

- 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。

※(著作権等)・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。